

様式第 4 号（第 11 項関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和 8 年度第 1 回西脇市まちづくり推進審議会
開催日時	令和 8 年 6 月 25 日（木）午後 7 時 00 分～ 8 時 30 分
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の氏名 又は人数	石田祐会長、藤原悟副会長、服部功友委員、 小谷和幸委員、松山千鈴委員、森川元良委員、 來住啓子委員、大嶋祐子委員、岸本あかり委員、 田中美紗子委員、西山桂委員、堀井悠次委員 計 12 名
欠席委員の氏名 又は人数	—
出席職員の職・ 氏名又は人数	まちづくり部長 藤井隆弘、まちづくり課長 藤原 あかり、まちづくり課主査 中野直道、まちづくり 課職員 野村悟史 計 4 名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0 名
議題又は協議事項	1・2 開会、市民憲章朗唱 3 委員委嘱 4 市長あいさつ 5 委員紹介（自己紹介） 6 概要説明 7 協議事項 (1) 正副会長の選任について (2) 諮問 (3) 部会の設置について ア 部会での決定を審議会の決定とすることについて イ 部会員の指名 (4) 西脇市地区まちづくり実践補助事業及び市民 提案型まちづくり事業について (5) 年間スケジュールについて (6) 市民主体のまちづくり活動活性化方策について（意見交換） 8 今後の予定について、閉会

会議の記録（概要）	
発 言 者	発言内容等
	1・2 開会、市民憲章朗唱 3 委員委嘱 4 市長あいさつ 5 委員紹介（自己紹介）
事 務 局	6 概要説明 資料1に基づき、西脇市まちづくり推進審議会の役割等について事務局から説明
事 務 局	7 協議等 (1) 正副会長の選任について 会長及び副会長の選任について、事務局案として会長に石田祐委員、副会長に藤原悟委員を提案し承認された。 (2) 諮問 ○ 市民主体のまちづくり活動活性化方策について 新たな担い手の参画を促進する方策の検討など市民主体のまちづくり活動の活性化に資する方策について審議会の意見を求める。 (3) 部会の設置について ア 部会での決定を審議会の決定とすることについて 地区まちづくり実践補助事業と市民提案型まちづくり事業の企画書の審査は部会を設けて、その中で密に審査をすることとする。部会での審議結果については、審議会に報告いただき、最終的に審議会の決定とする。 ○ 委員からの異議がなかったため、部会を設置すること、また部会での決定を審議会の決定とすることについて承認 イ 部会員の指名 審査委員として、以前から審査委員としての経験が豊富である方や、なるべく審査対象の団体に属さない方など考慮した上で事務局と相談し提案する。 ○ まちづくり活動審査部会 委員からの異議がなかったため、小谷和幸委員、藤原悟委員、來住啓子委員、岸本あかり委員の4名で部会を構成することとする。 (4) 西脇市地区まちづくり実践補助事業及び市民提案型まちづくり事業について 資料2及び資料3に基づき、西脇市地区まちづくり実践
市 長	
会 長	
会 長	
事 務 局	

事務局	補助事業及び市民提案型まちづくり事業の概要について事務局から説明 (5) 年間スケジュールについて 資料４に基づき、本審議会の年間スケジュールについて事務局から説明 (6) 市民主体のまちづくり活動活性化方策について（意見交換）
会長	市から諮問された、新たな担い手の参画を促す取組について、各委員の御意見をお聞かせいただきたい。
委員	イベントの企画運営を行っている際、若い世代からの意見が頭ごなしに否定され、そのメンバーが辞められていくことがあった。また、西脇から進学で離れている子どもが、地元のイベントに参加するため帰ってきてくれている。手伝ってくれる理由を聞くと、「手伝うのが楽しいから」とのことだった。自分が楽しんでいないと、参加している方も楽しめないということを改めて認識させられた。
委員	地区で移動販売車の運行、カフェ及び売店を運営している。移動販売車は高齢者が買い物を楽しむ場、カフェは憩いの場となっている。様々な手法でメンバーを集めているが、高齢化が進んでおり、今後の運営が課題となっている。この審議会で学んでいきたいと考えている。
委員	所属する団体では女性の参画が増えており、副会長に２人の女性が入っている。その１人は４０代の方で、仕事が終わってから参加してくださっている。参加理由を聞くと、「楽しいから」とのこと。若い方が自分の仲間や知り合いを連れてきてくださるのが最も効果的だと考えている。
委員	まちづくり活動は仕事とは異なり、失敗してもその場でやめることができるため、やりたいことをみんなで行うことが大切である。楽しいことをすることで仲間を集めていければと思う。市民提案型まちづくり事業の補助団体の中に、子育てに関係した事業を展開する女性グループがあったが、活動が長続きしなかったように感じる。こうしたグループに男性を加えた体制にしていた方が長続きするのではないか。また、若い方が企画された婚活イベントを見ると、婚活とゴルフを組み合わせた大変興味深いイベントになっていた。若い人が参画してくれると、多方面の意見が出て、面白い企画ができるのかなと感じる。かつて自分が住んでいる地区でアンケートを取った際、自分から積極

委 員	的に参画できないけれど、何かあれば手伝ってくれるという意見が多くあった。まちづくり活動を進める立場としては、非常に心強いものである。 私が地域の活動に参画するきっかけとなったのは、会長の熱意だった。活動する中で、参画してくれる方が増えないことが悩みだったが、最近部会長になって意識しているのは、トップダウンで進めるのではなく、委員の意見をサポートする形で進めていると、楽しく活動してくださっている。このように進めていると、地区外から活動に参加したいという申し出があり、良い循環が生まれていると感じている。また、最近は高校生との連携に注力している。高校生は大変な熱意を持ってまちづくりに参加してくださっている。高校生が行うまちづくり活動に報償や承認を与えると、将来社会に出たときに、地元を面白くしたいという気持ちが帰ってきてくれるきっかけにならないかと考えている。
委 員	先月の播州織産地博覧会とわいわいまちなかに参加したが、どちらも来場者も多く、地元の人もしんで参加されており、かつての商店街エリアに活気が戻っていた。若い人は子育てや仕事で精一杯で、まちづくり活動まで気が回らないと思うが、何か一緒にやるとしんで実施してくださる。周りの方を巻き込みながら実施することが重要だと考える。そのためには、多くの世代が参加できるイベントを作ることが大切なのではないか。
委 員	子どもの参画が大切といった話があったが、昔は地域の祭りが活発で、氏子の代表に選ばれるなど、祭りに携わることで地域への愛着が生まれ、その次の世代も定住して祭りに携わるという流れがあったと思うが、それが薄くなってきていると感じられる。また、私が住んでいる村では40代の方が役員をしている。移住して1年も経ってないが、新しい友達を作るために役員になったとのことであった。新しいコミュニティーを作るために参画するという考え方も良いのではないか。次に家族についてであるが、自分の家族は何かやりたいと言え、喜んで送り出してくれる。ただし、晩御飯の時間や送迎の時間と重なって参加できない事情がある方もいると思うので、そのあたりを市がカバーできれば、良い環境になるのではないか。それに加え、アイデアを出すと、そこから企画運営や効果測定まで任せられ、

委員	大変だったことがある。発案者に全てを任せるのではなく、周りの方と一緒に進められるようなまちづくりができればと思う。
委員	自分の意見を気軽に発言できる場があればいいのではないかと思う。他の委員の話にあったが、まちづくり活動に参加された女性に活動を続けてもらうには、そのような活動を世間に認めてもらえるような場があればいいのではないか。
委員	まちづくりには人を集めるイベントが何より大切であり、そのイベントによって広報活動もできるし、経済活動にもつながると考えている。スタンプラリーのようなイベントは、普段参加されていない方からの異なった視点での意見を取り入れられるので良いと思う。また、学生時代に加入していたサークルでは、メンバーのアイデアを否定せず、みんなで考えていくということを大切にしていた。住民の意識が変われば、老若男女問わず、全員がまちづくりに携わる地域になっていくのではないか。
委員	食を通じて、多くの人が交流でき、また食について学べる場を作りたいと思い、同じ想いを持った仲間と団体を立ち上げた。おいしいものや楽しいことに子どもが集まり、子どもが集まるとその親や祖父母が集まってくるので、そのような場所を作っていきたい。
委員	日々まちづくり活動をしている人にとっては、まちづくり活動に参加したいからではなく、西脇での暮らしを豊かにしたり、日々の暮らしにある小さな課題を解決したいと思い、活動を続けられていると思う。そのような考えを地域に根付かさせる支援ができたらと考えている。
会長 委員	他の委員の話を聞いて、何か意見はあるか。 以前、他市で子どもを対象とした環境啓発の体験学習を企画していたことがある。当時はそういったイベントの数も少なかったため、参加者が溢れていた。今はイベントは増えたが、少子化が進んだため、人が集まらないイベントも多くある。こういったイベントは結局、子どもの取り合いになっているように感じる。他の委員の話にもあったが、子どもを対象にしたイベントは必然的に親や祖父母がついてくるので、来場者は多くなる。西脇市はまだ体験学習が少ないように感じるので対策を講じるべきである。西脇市も子どもの数が減っており、その数を取り合っても仕方な

委 員	いので、様々なやり方を考えればいいのでは。 他の委員の話のなかで、町の役員になって活動をしているが仲間を増やす話があったかと思うが、私も町の会計を務めている。役員になって自分の意見をイベント等に反映できることは非常に良いことだと思う。
委 員	まちづくりについて想いがある方がもっと出てきてくれれば、まちづくり活動も活性化し、楽しく皆さんが過ごせると思う。他の委員の話にもあったが、アイデアや意見を出すと、自分が責任を取らなければならないという気持ちがあるのではないかと思う。そこは団体が引き受けて、みんなで協力して進めていくようになれば、素晴らしい意見がどんどん出てくるようになっていくのではないか。
会 長	委員の皆さまから様々な意見を頂いたが、担い手不足というテーマは少し広く感じるため、今日の皆さまの意見を踏まえて事務局と協議し、次回から協議する具体的な事項を決定させていただきたいと思うがよろしいか。
委 員 会 長	異議なし 事務局との調整の結果、皆さまの意見を全て反映することは難しいと思うが、御了承いただきたい。
	8 今後の予定について、閉会 まちづくり活動審査部会や第2回まちづくり推進審議会の開催日程について説明
問合せ先	まちづくり部まちづくり課